

令和元年7月18日

就任のご挨拶

九州大学特任教授（名誉教授）伊東 信



このたびゴールデンウルヴス福岡のGMに就任いたしました。私は本年3月末で九州大学を定年退職しましたが、それまで約25年間、九州大学ハンドボール部の部長を務めてまいりました。本学ハンドボール部OBでもある、泉可也オーナーの依頼により本職を引き受けることになりました。どうぞよろしく願いいたします。

ゴールデンウルヴス福岡の前身である、フレッサ福岡の掲げる「アスリートと農業後継者の同時育成」という理念と活動にはかねがね興味を持ち、また、共感を抱いておりました。我が国が抱える今世紀最大の課題の1つは、安心・安全な食料の自給率の向上といっても過言ではないでしょう。この難問の解決に不可欠なのは、若手農業後継者の育成です。本クラブがアスリートとしての若者の挑戦をサポートするとともに、農業従事者の育成を推進するモデルケースになることを期待します。また、日本リーグ参戦による時間の制約から農業現場だけでなく、食やバイオマスにまで職業コンセプトを広げる

とのこと。私自身も農学・バイオ関連分野において長年研究と教育に携わってまいりましたので、クラブの理念に基づく人材育成事業に少しでも貢献できれば幸いです。また、GMとしてクラブチームのコンプライアンスの徹底、健全な経営に微力ながら尽力したいと思います。

ゴールデンウルヴスは、山中基監督のもと7月13日から日本リーグに参戦しました。小兵でも統率された群れで大きな敵に立ち向かう狼のように強豪チームと力一杯戦ってくれることを望みます。また、試合、移動、練習、就農というサイクルをアスリートとして力強く回して欲しいと思います。

トップリーグ初参戦ですので、他チームに比べると、練習環境を含め十分ではないところがあることは承知しておりますが、ハンドボーラーが農業に取り組むという新しい試みにご賛同いただき、末長くご支援・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。